

スパークタイムズ 第8号

平成26年12月27日
市議会議員 坂澤博光

平成26年度第4回各務原市議会が12月8日（月）から25日（木）まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 補正予算の概要

- (1) 平成26年12月14日（日）に行われた衆議院議員選挙のための費用、約3,000万円が計上され承認されました。
- (2) 川島市民サービスセンター新庁舎の建設敷地内の樹木の伐採、福祉の里の空調機器更新などのために約1億7千900万円を追加し、予算総額を約433億円とする一般会計補正予算が可決されました。
- (3) 各特別会計の事業確定に伴う補正予算（介護保険事業、約1,600万円、後期高齢者医療事業、約8,000万円、下水道事業、約4,000万円が増額され、水道事業担当職員減に伴う水道事業、約1,300万円が減額）が提出され可決されました。

2 条例の改正（主要なもの）

- (1) 人事院勧告に基づく職員の給与（平均0、3%アップ）と期末手当（0、15%アップ）を改訂するための条例が可決されました。
- (2) 地方創生に向け新たな行政需要対応として、副市長を二人にする条例が可決されました。
- (3) JR那加駅南に駐輪場を新設しますので、位置と名称を定める条例が可決しました。

3 スパークの一般質問

12月17日の一般質問において次のことを質問しました。（紙面の都合から質問の一部）

(1) 航空宇宙科学博物館の地震対策について

ア、なぜ質問したか。

東海、東南海、南海地震が高い確率で予測されており、遺産としての航空機を地震の被害から守るため、リニューアル計画に地震対策を盛り込む必要があると考えたからです。

イ、質問内容

- ・航空宇宙科学博物館の耐震対策の状況は。
- ・地震発生時の入館者の避難誘導要領および避難訓練の状況は。
- ・展示機（屋内、屋外）の耐震補強策は。

ウ、執行部からの回答

- ・航空宇宙科学博物館の建物は、平成5年から8年にかけて建てられており、昭和56年制定の耐震基準を満たしています。



- ・毎年一回、消防署の立ち合いのもと避難誘導訓練を実施しており、火災報知器の通報訓練、来館者の避難誘導や消火訓練を実施し、消防署員から講評を受けています。
- ・現在策定中のリニューアル構想に、専門家の意見等も伺いながら、来館者の安全確保と展示機の保護を十分配慮した計画づくりをしていきます。

(2) 災害情報の各世帯への伝達について

ア、なぜ質問したか。

- ・避難勧告・避難指示などの重要な災害情報は、市役所から出されるだけでなく、各世帯に伝達されることが必要なので、現在の災害情報伝達体制を確認します。
- また、災害情報が各世帯に迅速、確実に伝わるには災害情報伝達訓練が必要だと考えていますので、災害情報伝達訓練を提案します。

イ、質問内容

- ・現在の災害情報の伝達方法と課題は。
- ・テレビやラジオなどの方法メディアを活用した伝達状況は。
- ・各世帯を含めた災害情報伝達訓練をしては。



ウ、執行部からの回答

- ・現在の情報伝達手段としては、災害情報スピーカーや個別受信機、FAX、電話、メール、ホームページなど多重化・多様化に努めていますが、災害情報スピーカーの放送が雨や風の状況によっては聞きづらかったり、電話、メール、パソコンの場合、受け手が限定されるなどが課題です。
- ・災害時には、県内の被害状況を把握するため「被害情報集約システム」が導入されており、この情報を基にテレビのデータ放送やテロップでの放送、ラジオ放送が行われます。
- ・携帯電話の普及率も高く、市防災情報メールに自治会長さんや自主防災組織の役員に登録してもらえよう啓発に努めていきます。

今後、自治会長さんのご理解が得られ、登録などのシステム整備が進めば伝達訓練はスムーズに実施できると考えています。

各世帯への伝達は、各自治会において自主防災訓練と合わせ伝達訓練も実施していくことが望ましいと考えます。



第8回市政報告会

とき：平成27年2月7日（土）13時から14時30分

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp、ホームページ：「さかざわ博光」で検索